

## 【1 部】 Microsoft 栄枯盛衰の 50 年。 パソコン普及から AI の雄へ

ビル ゲイツさん ありがとう!!!

【提供】日経クロステック／日経コンピュータ

【マイクロソフトに感謝】マイクロソフトが 50 年間にわたって技術革新を続け、世界の多くの人々の生活や仕事を支えてきてくれたことに感謝したいです。自分の周辺に感謝の気持ちを持っている方々がたくさんいます。マイクロソフトの努力の証でもあると思います。これからもよろしくお願いいたします。

【下写真】東京都内で記者会見する米マイクロソフトのビル・ゲイツ会長



米マイクロソフトが 25 年 4 月 17 日で  
設立から 50 年を迎える。安価で、初学者にも使いやすい  
ソフトウェアを武器に、企業や一般家庭に世界約 14 億台の  
パソコン(常に、新しい Windows へと Graded 続けている)、

55 億人が利用するインターネットを広める立役者となった。スマホでは、  
技術革新に乗り遅れ、米グーグルや米アップルに敗れるも、

※クラウド・コンピューティングや人工知能 (AI) で、復活を果たした。

50 年の栄枯盛衰を振り返る。

※クラウドコンピューティング：クラウド(離れた場所でもコミュニケーションやデータのやり取りを実現した技術)上で、コンピューティング・サービスを利用する形態のこと。インターネットを経由してコンピューティング・サービスを利用するという仕組みのため、ネットワークを構築するためのハード・ウェアや物理サーバーを用意する必要が無く、必要なコンピューティング・サービスの分だけ料金を支払えば安価で利用できるという強みがある。「雲」のアイコン。

### 【1 部】 INDEX

- TOPIC1 ソフトの役割を再定義
- TOPIC2 ゲイツ氏 VS ジョブズ氏
- TOPIC3 ウィンテル帝国 (Windows/In tel)
- TOPIC4 泥沼の独禁訴訟
- TOPIC5 モバイル敗戦
- TOPIC6 クラウドと AI で捲土重来

## TOPIC1 ソフトの役割を再定義



1975(S50)年4月4日、マイクロソフトは、米ハーバード大の学生だったビル・ゲイツと、友人のポール・アレンが設立。

米南西部ニューメキシコ州で、※MITS 社が初の個人向けコンピューターとなる「Altair (アルテア) 8800 (左写真)」を発表し、マシンで動く、プログラミング言語である「BASIC(ベイシック)」を使えるようにするソフトを提供したことがキッカケ。

※MITS : (Micro Instrumentation and Telemetry Systems) は米国ニューメキシコ州アルバカーキにあった電子機器メーカーである。世界初の商業的に成功したパーソナル・コンピュータ (PC) である Altair 8800 を製造した>

マイクロソフトの社名は、「マイクロコンピューター」と「ソフトウェア」を掛け合わせて命名した。1981(S56)年に、米 IBM が開発するパソコンに基本ソフト(OS)である「※MS-DOS(エム・エスドス)」を提供し、※互換性のある他社のパソコンでもこのソフトが使用でき、急拡大に火が付いた。

※「互換性のある他社のパソコンでもこのソフトが使用でき、急拡大に火が付いた。」1981(S56)年時代のコンピューター業界では、互換性を確保することは非常に難しい課題であった。1980年代はまだPCが急速に発展していた時代で、各メーカーが独自の仕様を採用し、業界標準獲得を目指して奮闘していた。異なるメーカーのコンピューター同士でソフトウェアや周辺機器を共有するのは難しい技術であった。しかし、MS-DOSの登場によって状況は変わり始め、MS-DOSは、複数のメーカーのパソコンで動作するよう設計されたため、ある程度の互換性が確保され、ソフトの普及が一気に加速した。これが後の「PC互換機」市場の拡大につながり、結果としてPC業界が統一された規格へと向かうきっかけとなった(業界標準確保で、PCシェアを一気に上げ、AIの雄となった)。

※MS-DOS(Microsoft Disk Operating System)は、1980(S56)年代から1990(H2)年代初頭に主流だった古典的なオペレーティング(OS)システム。当時小さなガレージ企業であったマイクロソフトは、IBMの出入り業者としてIBM開発のIBM-OS2を改良したMS-DOS(エム・エスドス)を製作・納入してIBMに食い込み、結果IBMはOSシェアを奪われ、IBMは、本来のPC(ハード)製作会社から撤退し、2004(H16)年暮れに最終的にはハード部門を中国企業(レノボ)に身売りすることとなった。このニュースは、蛇が象を飲み込んだとか、言われて世界を仰天させたいきさつがある。その後IBMはコンピュータ総合会社からソフト専門企業に変貌していった。一方マイクロソフトは、主にIBM PC互換機で、MS-DOS後のWindowsシリーズの基盤となり、パーソナル・コンピュータ(PC)の普及と、ソフトウェア開発に大きく貢献し現在に至るのです。  
コンピュータの巨人IBMはPC事業を何で中国の新興企業レノボに!(Ctrlkey+クリック)

マイクロソフトの革新は、ソフトの価値の再定義にある。ソフトは、ハードの付属品という固定観念を覆した。ソフトの、知的財産権を確立し、独立した商品として価値を高め、ライセンスで、対価を得るソフト企業のビジネスモデルを確立した。

## マイクロソフトのこれまで

パソコンとネット普及をけん引	
1975年	ビル・ゲイツ氏とポール・アレン氏が創業(写真①)
81	IBMのパソコンに基本ソフトのMS-DOSを提供
85	ウィンドウズを発表
89	最初のOfficeを発売
95	ウィンドウズ95が発売(写真②)
モバイル革命に出遅れ	
2000	ゲイツ氏が退任しスティーブ・バルマー氏がCEOに(写真③)
01	Xboxを発売
07	iPhoneが登場
10	クラウド基盤のアジュールがサービス提供
11	サブスク型の「オフィス365」の提供開始
クラウドとAIで挽回	
14	サティア・ナデラ氏がCEOに就任
16	買収したノキアの携帯部門を売却し撤退
18	ギットハブを買収
19	オープンAIと提携(写真④)
23	ゲーム大手アクティビジョン・ブリザードを買収



ナデラCEO(左)とオープンAIのサム・アルトマンCEO(右)

## TOPIC2 ゲイツ氏 VS ジョブズ氏

80(S56)年代では、PCは、プログラムの高い知識と技術を持つ者しか使えなかった。マウスとディスプレイの表示を連動させ、アイコンなどをクリックして使う「グラフィカル・ユーザー・インターフェース(※GUI)」の登場が、PC普及に大きく貢献した。

※GUIは、米カリフォルニア州シリコンバレーにある米ゼロックス社のパロアルト研究所の「Alto(アルト)」が原型といわれ、これに着想を得た米アップル創業者のスティーブ・ジョブズ氏が、84(S59)年に、マッキントッシュとして、先駆けて製品化した。マイクロソフトは、85(S60)年にGUIを採用入れた「ウィンドウズ」を発表した。GUIを広く安価な互換性のあるパソコンで使えるようにし、PCを一気に普及させた。

※GUI(Graphical User Interface): グラフィカルな、ユーザ・インターフェース(UI=画面)を用いることによって、ユーザーはマウスやその他の  
 ※ポインティングデバイスを使って、画面上のアイコンやボタンを直接操作ができる。これにより、ユーザーが複雑なコマンドや特定の構文を記憶する必要がなくなり、初心者でも、容易にコンピュータを扱えるようになり、一般ユーザーが急拡大した。  
 ※ポインティングデバイス(マウス、タッチパッド、タッチスクリーン)など。これらデバイスは、画面上のポインタを操作したり、座標を指定したりするのに使用される。

ライバル心をむき出しにしたジョブズ氏は、ゲイツ氏を「人のアイデアを恥ずかしげもなく盗む」と、ことあるごとに批判した。

ゲイツ氏は「ゼロックスという金持ちの隣家にテレビを盗みに入ったら、あなたがすでに盗んでいたことに気づいたという感じだ」と反発し、あくまで原型は、パロアルト研究所内にあったと主張している。

日本で PC が、一気にメジャーになった日、それは OS（基本ソフト）の「Microsoft Windows 95」が発売された日、1995 年 11 月 23 日ではないだろうか。

23 日午前 0 時に販売解禁を迎えた秋葉原（【2 部】で詳細ご確認できます）には、Windows 95 を求める人がごった返し、まるでお祭りさわぎのような事態に。

ニュースでも、センセーショナルに取り上げられ、PC とインターネットの時代が幕を開けたのです。

未来のコンピューターの形を求め、ハード&ソフトを自社で設計し、あくまで利用者の直感的な使い勝手の良さを追求するジョブズ氏に対し、ゲイツ氏は、ソフト(OS)をベースに、互換性やコストを追求し、PC の一気の普及を念頭に置いた。

【下写真】 ▲Windows 95 が搭載、NEC 「PC-98」



ゲイツ氏は、ソフトをベースに、互換性やコストを追求して、普及を念頭に置いた。

いわば、ジョブズ氏が、まいたコンピューターのパーソナル化の種を、ゲイツ氏が、世界に広げ、そして育てていったといえる。

2 人の天才の対立は、裁判にまで発展したものの、

2007(H19)年のイベントで、ジョブズ氏はゲイツ氏を「コンピューターを大衆のものにした」と、評価し、**たたえ合った!**と云う。



### PC開発の模倣をめぐりゲイツ氏と ジョブズ氏は対立した

パソコンの源流となったゼロックスの  
パロアルト研究所の「アルト」

ビルは想像力がない。人のアイデアを  
恥ずかしげもなく盗む

ジョブズ氏

ゲイツ氏

ゼロックスという金持ちの隣人にテレビを  
盗みに入ったら、あなたがすでに盗んで  
いたことに気づいたという感じだ

AP

AP

### 対極の哲学が交差し、世界を変えた

直感的な使い  
勝手や革新性、  
美しいデザイン  
を重視

ソフトとハード  
を一貫して開発

コストや実用性、  
ソフトの普及  
や互換性を  
重視

2人はのちに和解。ジョブズ氏はゲイツ氏が「コンピューターを大衆のものにした」と述べ、たたえ合った(2007年のイベント)

### 「インテル帝国」でパソコンを席卷

WindowsOSはインテルの半導体に最適化され、  
事実上の業界標準に

ウィンドウズ95を発表するゲイツ氏

「インテル入ってる」が代名詞に

2000年代前半にはパソコン用シェアで  
WindowsはOSの9割、インテルはCPUの8割を握る

インテルのアンディ・グローブ会長と  
ゲイツ氏=ロイター

### TOPIC3 ウィン・テル帝国

(Windows95 が当時の 世界の PC の 9 割を占めた)  
世界的なブームを巻き起こした「ウィンドウズ 95」は、  
発売 1 年で 4000 万本以上を販売した。

ウェブ閲覧ソフト (ブラウザ)「インターネット・エクスプローラー (IE)」は、  
無料でセット提供され、インターネットの一般家庭への普及・拡大をも促した。

95(H7)年にゲイツ氏は、「インターネットの大波」という社内メモを出し、  
インターネットが、あらゆるものを変える未来を予見した。

2000(H12)年代には、PC の 9 割をウィンドウズが占め、  
パソコンの頭脳役 (OS=Windows) には、米インテルが最適化した  
CPU (中央演算処理装置) を搭載した。

「ウィン・テル帝国 (Windows・Intel…CPU の当時の世界 Top メーカー)」と呼ばれる  
一時代を築き、世界のデジタル革命を先導していった。

### TOPIC4 泥沼の独禁訴訟

ウィン・テル帝国は、反発も招いた。

ウィンドウズを軸に、※ブラウザの

- ① インターネット・エクスプローラー (IE)、
- ② 業務ソフトのオフィス (Wd・Ex・PowerPoint etc.、…) といった、

ソフト群を、抱き合わせて販売する手法は、  
他のソフト企業の参入をはばみ、競合に対する障壁となると訴えられた。

当時、クリントン米政権下の 1998 (H10) 年、司法省が中心となり、  
反トラスト法 (独占禁止法) 違反の疑いで、マイクロソフトを提訴した。

セット販売が、市場競争をゆがめ、競合の参入を阻んでいるというのが主眼にあった。  
2000 年、米連邦地裁は、マイクロソフトの独占を認め、  
OS と業務ソフトの 2 つに分割するよう 命令を下した。

国家による企業分割では、  
米石油大手スタンダードオイル、米通信大手 AT&T に続く、  
歴史的な判決となり、マイクロソフトは窮地に陥った。

同じ年、ゲイツ氏 (当時 45 歳) は 2 代目 CEO として、

スティーブ・バルマー氏に経営のバトンを渡した。

控訴審は審議不十分として差し戻され、最終的には当局との、和解で分割を回避した。ソフトをセット提供する商慣習に対し、政府の厳しい監視は、約 10 年にわたって続いた。

## 独禁裁判では一時分割危機に陥った



### TOPIC5 ※モバイル敗戦

マイクロソフトの解体は回避されたが、ゲイツ氏は、後に「もし訴訟がなければ、もっと電話(スマホ)用の OS 開発に集中できたはずだ」と述べ、グーグルやアップルに、※モバイルの覇権を握られたことを、人生最大の後悔と回顧している。

独占の解消は、分割ではなく、※モバイル時代の到来という新たな技術革新によって、もたらされることになった。

※モバイル：「①移動しながら」と「②通信できる」という二つの要素を合わせ持った状態を意味し、単に「モバイル」と表現した場合は、一般的にはスマホを指す。その他に、タブレットやノートパソコンのように「移動中や外出先でもネットが使える機器」を含めて表現する場合もある。

**ビル・ゲイツ - Wikipedia (Ctrlkey+クリック) :**

ビル・ゲイツ (英語: Bill Gates)、本名 ウィリアム・ヘンリー・ゲイツ 3 世 (英語: William Henry Gates III 、 1955 年 10 月 28 日 - シアトルで生まれ育つ。) は、アメリカ合衆国の実業家、慈善家。幼なじみの ポール・アレン とともにマイクロソフト を創業した人物。スティーブ・バルマーに引き継がれるまで、会長兼 CEO として同社を率いたが、取締役会会長にとどまり、チーフ・ソフトウェア・アーキテクトに就任した。

## パソコンからモバイルへの移行で苦戦した



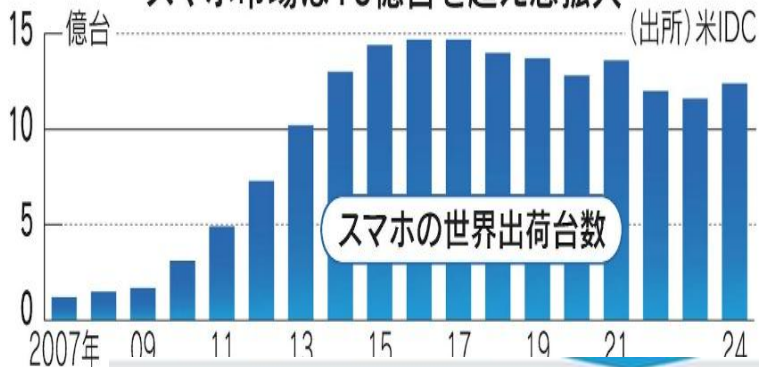
アップルが、07 (H19) 年 iPhone を発売し、3G 通信で (現在は 5G・6G の時代)、

モバイルインターネットの時代が幕を開けると、

米グーグルは、  
スマホ OS 「**アンドロイド**」や、  
**ブラウザ**  
(インターネット上のウェブサイトを開覧するためのソフトウェア) は、

「クローム」で、マイクロソフトの牙城を切り崩していった。

### スマホ市場は10億台を超え急拡大



OSやブラウザの主役はアップルとグーグルに

スマホはアップルとアンドロイドで 97%を占めた

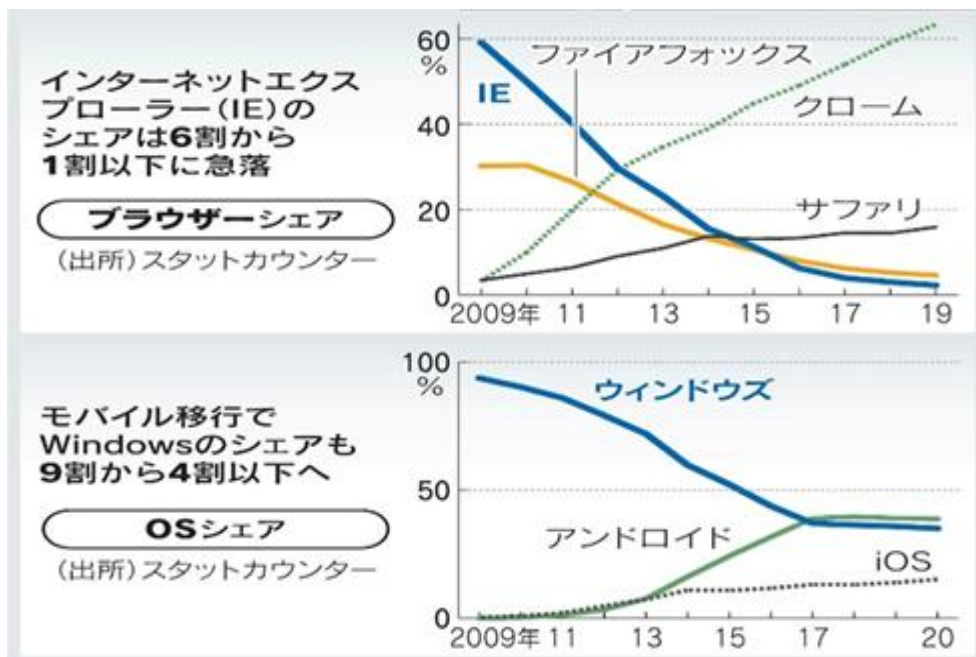
スマホシェア (出所)米IDC

Android端末 82%	iPhone 15	その他
---------------	-----------	-----

2014年の出荷台数シェア

ノキアの携帯部門を買収しウィンドウズフォンで巻き返し図るも16年撤退

マイクロソフトは「**ウィンドウズ・フォン**」を発売しその上、  
2014 (H26) 年には、**ノキア** (「**Nokia**」**フィンランド**の通信機器メーカーである Nokia Corporation のこと) の 携帯端末事業を買収して挽回を狙ったが、  
シェアは 1 割にも満たず、撤退を迫られた。



## TOPIC6 クラウドとAIで捲土重来

モバイルが苦戦するなか、**マイクロソフト**は、**事業の多角化**を進めた。

- ・ゲーム事業の「Xbox」(エックスボックス)、
- ・クラウド基盤の「アジュール (Azure)」、
- ・ソフトの **サブスクリプション** (定額課金) の「**オフィス 365**」と、

いった事業を、新たな柱として育ててきた。

14 (H26) 年に3代目 CEO に就任したサティア・**ナデラ**氏は、

「**モバイルファースト**」

「**クラウドファースト**」 を、旗印に**経営方針を大転換**した。

- ① ウィンドウズ (OS)、
- ② オフィス (Wd・Ex・PowerPoint etc.、…)などの

部門間ごとに独立させていた、**競い合う組織を改め**、**製品ではなく、機能ごとの組織構造**に抜本的に改めた。

「**オフィス 365** (Wd、Ex、PowerPoint、etc.、を含む**パッケージ**)」の製品を**アップル**や、**グーグル**の **OS** にも、**提供し他社製品との連携**を強め、

ソフトの**プラットフォーマー** (サービスの**提供者とその利用者を繋ぐ**「**土台**となる**プラットフォーム**を提供する企業」) としての**位置づけ**を明確にした。

## クラウドとAIで巻き返し



### ナデラ改革でWindows一本足から脱却

クラウド基盤 Azure(アジュール)	企業のITインフラとして稼ぎ頭に
マイクロソフト365	売り切りからサブスクリプション (定額課金)モデルに転換
ゲーム事業	大型買収で攻勢

特に、AI 時代を予見し、「オープン AI」に接近。

まだ ChatGPT が世に出ていない 2019 (R 元) 年から、同社にクラウドのインフラを提供し、見返りに AI 技術の優先使用契約を得た。

企業向けに、IT インフラと AI をセットで提供する戦略へとカジを切った。

オープン AI に対しては、2 兆円 (≒300 兆円) ともされる大型投資で後ろ盾となり、

同社 (オープン AI) の技術を、あらゆる ビジネスソフトに、AI 支援「コパイロット (Copilot)」として盛り込んだ。

AI 戦略を、株式市場にも評価され、一時は 時価総額は 3 兆ドル (≒450 兆円) を突破し、アップルと首位を競うほどに勢いを取り戻した。



### 時価総額は一時3兆ドルで世界首位に

マイクロソフトを復活させたナデラ氏だが、「オフィス 365」を中心とするソフトのセット販売や、AI 技術の囲いこみなど、

肥大化するマイクロソフトの手法に対し、競争当局は監視の目を再び強めている。

稼ぎ頭のクラウド事業は、成長が鈍化し、AI の莫大な投資回収も不透明の状態だ。次の 50 年は、再び、波乱の予感に満ちている。



マイクロソフトの産業史的な功績は、先人たちのアイデアを巧みに生かし、PC を、ビジネスインフラとして定着させた点だ。

ソフトによる資料作成や情報共有の仕組みは、

紙やタイプライターを使っていた労働者の働き方を劇的に変え、より柔軟でグローバルな労働環境と生産性向上を実現した。

反面、米国の巨大テクノロジー企業の主導による

※デジタル技術の標準化は、独占やサイバー攻撃といった負の側面をもたらしている。AI 革命の一翼を担うマイクロソフトの責務は重いのです。

取材・記事 渡辺直樹氏。グラフィックス 原田桂子氏、藤沢愛氏。編集担当 星正道氏。

反面、米国の巨大テクノロジー企業の主導による※デジタル技術の標準化は、独占やサイバー攻撃といった負の側面をもたらしている。AI 革命の一翼を担うマイクロソフトの責務は重いのです。⇒ マイクロソフトのような超大手テクノロジー企業が担う責任も大きく、慎重な対応が求められているのです。

- ① サイバー攻撃のリスク増大：標準化されたシステムは、世界に広く普及し、同じ仕の技術が世界中の機器やネットワークに採用されるので、攻撃者にとって狙いやすい共通のターゲットが生まれ、一つの脆弱性が広く影響を与えるリスクが益々大きくなるのです。
- ② プライバシーとデータの管理：AI を含むデジタル技術の進化は、個人情報の収集・管理が益々重要になります。

適切な規制を実行しても、現状を見る限り、AI/IT 技術者崩れ、会計士崩れ、医療者崩れ、法律家崩れ等、高度な知識と技術を持つ悪徳集団によってイタチごっこの繰り返しになってしまっているのです。そして、取り締まる側の方がレベルが圧倒的に低いとも云われているのです。今後の対応に相当の覚悟は必要と思われるが、人間と AI の共存に向けて、どのような準備が必要なのか…？

文責 本間悠三サイバー塾彩 s@i

【2 部】 Windows 95 が  
発売された歴史的な一日  
秋葉原にいた人は何を見た

中・韓国に、シェアを奪われ  
死に体であった白物家電の街を  
Windows 95 が秋葉原を救う



日本で PC が、一気にメジャーになった日、それは OS（基本ソフト）の「Microsoft Windows 95」が発売された、1995 年 11 月 23 日ではないだろうか。

23 日の 0 時に、販売解禁を迎えた秋葉原には、Windows 95 を求める人がごった返し、まるでお祭りのような事態に。



ニュースでもセンセーショナルに取り上げられ、PC とインターネットの時代が、幕を開けた。中には、お祭り騒ぎを見て販売の行列に並ぶ人や、PC を持っていないのに、Windows 95 のパッケージだけを買った人もいたほど。そんな Windows 95 発売狂想曲のメイン舞台

となった秋葉原。

その日、そこにいた人はいったい、何を見て、何を考えていたのか？

歴史的な一日を目撃した 3 人から、貴重な証言を聞いた。

まず「深夜販売」自体が異例だった秋葉原にあった

V-CLUB という小規模の PC ショップで、店員をしていた河野さん。

河野さん（50 歳：当時 25 歳）

「アメリカで先行発売されたとき、前代未聞の深夜販売をやっている『マジか』って。

日本でも前例のない深夜販売をやるか、各店が悩んでいました。

本当に客が来るのか、終電がなくなるのに大丈夫かなって」だが直前で、深夜販売を行なう店がかなり増えたこともあり、前日に、深夜販売を決めた。

河野さん

「お祭りだから、やっぱり参加しておこうって」。当日の秋葉原には、この人もいた。

Windows や Macintosh ほか、コンピュータソフトなどを卸すキヤノン販売

（現・キヤノンマーケティングジャパン）に勤めていた、

秀島ヒロノリさん（55 歳。当時 25 歳）。



秀島さん

「**Windows 95** は爆発的に売れるかも」という話は、**Microsoft** の営業の人ともしていました」  
その理由は、**アメリカ**での前評判のよさ。

秀島さん

「**アメリカでも大ブーム**になりましたから。  
そして、**アメリカの発売日から**、  
まだかまだか……と、  
**3カ月**待って、**ついに発売されたんです**」  
**20時**ごろには**狂乱**がはじまっていた



▲ **Windows 95** が搭載された、**NEC「PC-98」**の看板

(当時は、まだ**白黒写真**だった。それに**自動色付け加工済**。  
てんぺるさん協力で)



そして発売日の**前日**、**1995年11月22日**を迎えた。  
河野さんの店には、  
**Windows 95** のパッケージを**もう並んる**。

河野さん

「売ってはいませんが、手に持って。  
箱を見られる状態で陳列しており、中身も入っていましたよ」。  
それまで、半信半疑だったが、  
通常店を閉める **17～18時**ごろでも、お客さんが**全然途切れ**ない。

河野さん

「**Windows 95** をどこで買おうか見て回る方も多くて、**21時**ごろには  
『**本当にお祭りになるかも**』と思いましたね」

創業 **250** 年、代々秋葉原に店を構える

和菓子店「**松屋**」の店主・西井信樹さん (60 歳・当時 35 歳) は語る。

西井さん

「**20時**ごろには、もうすごかったです。  
電気街の **JR** のガード下にあった駐車場に戻ろうと思ったら、  
**もう人が大行列**で、**車も規制**されて。月決めの駐車場にも入れませんでした」

**人が多すぎて車道**にまでいっぱい、**車まで規制**されてしまったのだ。さらに……  
西井さん「**中央通り**付近の各店の列が、**数百m**先の私の店の前まで延びてきて。  
おそらく**ラオックス ザ・コンピュータ館**とか、の列だと思います」



【ラオックスは今】  
総合免税店を主軸に  
インバウンドビジネスの  
パイオニアとして知られる  
ラオックスは、今やリテール、  
海外、アセット・サービスの3つ  
の事業を手掛ける総合サービス  
企業グループとなった。中でも  
直近はリテール事業の中核企業  
シャディに注力し、オムニ  
チャンネルの構築、新業態への  
進出など国内市場向けに新しい  
取り組みを始めている。文＝井上  
博（雑誌『経済界』2022年  
12月号より）

▲現在の地図より（地理院タイルに店舗名や通りの名称を追記して掲載）

▲遠く離れたこの店まで行列が来た両店の距離は約 500m  
以上。車道にあふれた何列もの列がそれを超えて延びていた。  
いま UDX ビルがあるあたりの広場にも人がたむろしていたという。

【写真右下】 ▲現在の秋葉原 UDX ビル

バカ売れたところも、売れなかったところもさらに、23時半過ぎごろに秋葉原へ  
到着した秀島さん。その足で、ラオックス ザ・コンピュータ館（通称ザ・コン館）をめざした。



秀島さん

「あそこにさへ行けば何でもあるって  
思われていたんですよ。

とくに、当時コンピュータ本ってふつうの本屋さんになくて、  
お客さんにとって、ザ・コン館が頼みの綱  
だったんです」

▲ザ・コン館前の群衆 (白黒写真に自動色付け加工済、てんぺるさん)

いわば、ザ・コン館は、PC の聖地であり、  
だからメディアもそこに人が来るのを狙っていた。

秀島さん

「さらに 23 日は勤労感謝の日です。  
お休みなので人が出ると見計らって、PC メーカーも要員を配置していましたね」

NEC や東芝、IBM らが、  
1 社 5 人くらいのコンパニオンを配置して PC のパンフレットを配った。

秀島さん「ただし数十万円もする PC を  
そんなときに買うのは大変なので、  
あの夜は、パッケージソフトが主役でしたね。  
ものすごい人で、どんどん売れていました。  
ただ、売り切れてはいないんじゃないかな？」



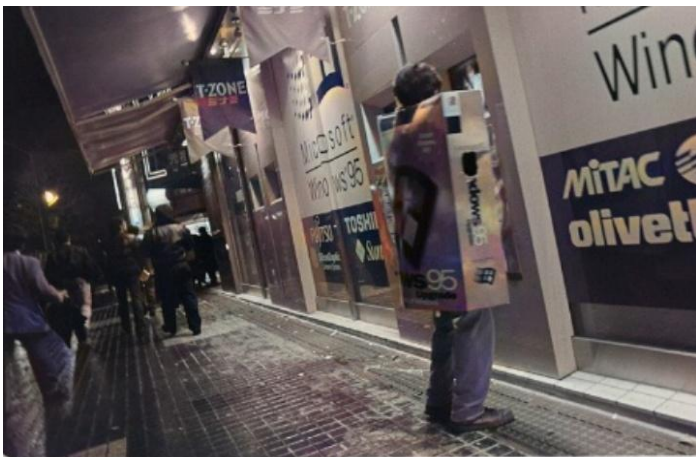
【右】▲ザ・コン館跡は現在、  
AKIBA カルチャーズ ZONE になっている

河野さん

「23 時台にはもうすごくて。  
そんなに歩道も広くないから、人と人がぶつかっちゃうぐらい。  
もう本当に見たことのない人出でしたね。  
外に人がいすぎて、店内から外に出るのを躊躇するくらいでした」

河野さんの店では 24 時を過ぎてもセレモニーはやらず、  
粛々と Windows 95 を解禁した。  
客寄せで呼び込みの女性にも一人来てもらってはいたが.....

【下写真】▲Windows 95 の箱に入った男性も、臨時販売のため、  
1 階や店頭だけ開けている店が多かった。



河野さん

「売れ行きは.....肩透かしでしたね。  
二桁行くか行かないか。

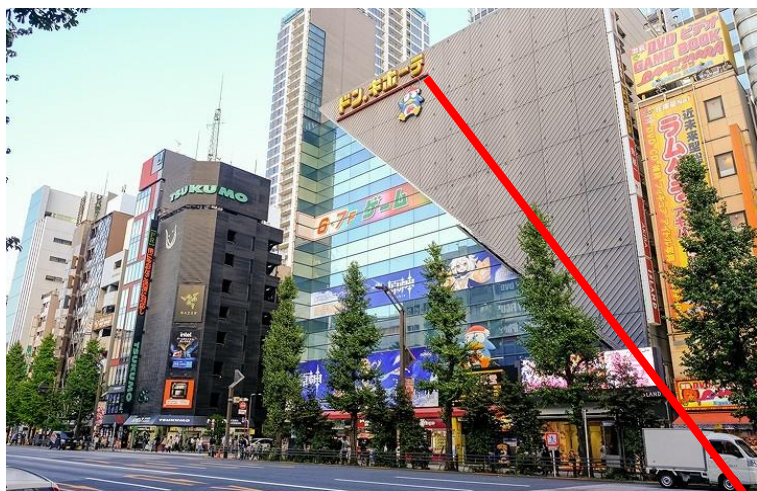
お客さんは、  
すごくたくさん来るんですけど、  
そのまま出て行かれて。  
ソフトを買うお店は、

昭和シェル社友会 hp250515 号 No.57 Microsoft 栄枯盛衰の 50 年。PC 普及から AI の雄へ  
ほかの大手とかに、  
決まっていたんじゃないですか。

ポイント還元とかもあると思うので」  
どの店でも **Windows 95** が飛ぶように売れたわけではなかったのだ。

河野さん

「圧倒的に**男性が多くて**、付き合わされている女性もいました。  
当時は、今よりもずっと PC ショップが多かったので。  
回るお店もたくさんあったんです。付き合わされる人は大変でしょうね」



ちなみに当時、**Windows 95** には  
**NEC の PC-98 用と**  
**DOS/V 用【※1】**があった。

※1 **DOS/V** (ドスブイ) は、  
1990 年に、**日本 IBM** が発表した  
PC 用の **OS の通称**およびその規格。

秀島さん

「だから当時は、店員さんが  
『**〇〇用**ですけど間違いはないですか』  
って確認していたんです」

【写真上】▲当時の**大手ショップ**だった **T-ZONE** は、今は、**ドン・キホーテ**と **TSUKUMO** になった  
ちなみに **11 月 23 日の朝**はどうだったのか。(隔世の感がある)

河野さん

「前夜ほどの熱狂はありませんでしたが、**Windows 95** 入りの PC を買い求める人がどん  
どんやってきました。**デスクトップ PC** を、折りたたみのキャリーで持ち帰る人が多かっ  
たですね。そのまま車でサッと」

そもそも **Windows 95** は、**何がすごかった**のか

ここで、**Windows 95** のソフト (**OS**) としての意義を見てみよう。  
目を見張るような**新機能が目白押し**だった。

- アイコンとマウスによる **GUI** (グラフィカルインターフェイス) の**進歩**
- インターネット**接続機能が標準搭載**
- 周辺機器を接続すると使用に**必要な設定を自動で行える仕組み**  
「**プラグ&プレイ**」が実現
- **ロング・ファイル・ネーム**が実装され、  
最大 **255** 文字までの**ファイル名を付けられるようになった**  
(それまでは「**12345678.jpg**」のように、**8 文字+拡張子 3 文字が最長だった**)
- 画面左下に**スタートボタン**を配置。**PC の難易度を下げた**

- ほかにも多様な新機能を実装しながらも、前のバージョンとの互換性を持たせた



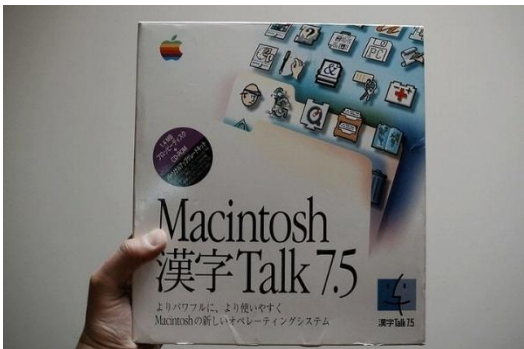
#### ▲Windows 3.1 の日本語版パッケージ

このように、今では当たり前のようにできることも、当時は画期的だったのだ。

河野さん

「Windows 3.1 までが、ダメすぎたとも思いますが（笑）。3.1 との比較で 95 はすごくよく見えました」

#### 【上写真】 ▲1995 年に登場した Macintosh の日本語版 OS 「漢字 Talk 7.5」 (Photo by MIKI Yoshihito)



そのときの **Macintosh** (アップル) は「記憶にない」ほど、影が薄かった Windows が時代の寵児になった夜。

**Mac** は、どうだったのか。

河野さん

「当日うちの店に、**Mac** のコーナーがあったかどうかすら、はっきり思い出せません。

それくらい影が薄かったですし、翌日以降の他店の **Mac** 売り場も 人はまばらでした」

#### 【上写真】 ▲1995 年に登場した Macintosh の日本語版 OS 「漢字 Talk 7.5」 (Photo by MIKI Yoshihito)

そんな歴史的一夜には、熱狂的なマックファンから

「**Macintosh** よ栄光あれ!、**打倒 Windows 95**」なる札を掲げた人も登場した。

秀島さん

「見ましたよ。あとは **Macintosh** では、もともと長いファイル名を付けられたんですが、その機能の実装を皮肉って、

『ようやくロングファイルネームが Windows でもできるようになりましたね...』  
って、意味のプレートも見ました」



**Mac OS** のメリットだった部分が、**Windows 95** でもできるようになり、わざわざ、

※シェアの小さい **Macintosh** を選ぶ理由がなくなった。

※大黒柱の**スティーブ・ジョブズ**を欠く **Apple** は大ピンチに陥り、**iMac** で反転攻勢に出るまでは、低迷を続けたのだ。それにしても **Windows 95** が、なぜこれほど人を集めたのか。

【写真上】 ▲かつて秋葉原に存在した **T-ZONE** で、**Windows 95** の PC を見る人々  
(白黒写真に自動色付け加工済、てんぺるさん提供)

※シェアの小さい **Macintosh** を選ぶ理由がなくなった。大黒柱の**スティーブ・ジョブズ**を欠く Apple は大ピンチに陥り、**iMac** で反転攻勢に出るまでは、低迷を続けたのだ。

【以下は、

**ジョブズとスカリー**〈前任はペプシコーラ経営者〉との出会いと別れのいきさつ】

**ジョブズ**が **Apple** を離れた理由は、社内の対立と経営方針の違いによるも。1985 (S60) 年、Apple の CEO だった **ジョン・スカリー** と **ジョブズ**の間で意見の対立が激化し、**ジョブズ**は **Macintosh** の販売不振が続き、取締役会はスカリーを支持。その結果、**ジョブズ**は **Macintosh** 最終的に **Apple** を去った。しかし、**Apple** は **ジョブズ**の退社後、業績が再び低迷し、12 年後の 1997 (H9) 年に彼を呼び戻すこととなります。**ジョブズ**の復帰後、**Apple** は **iMac**、**iPod**、**iPhone** などの革新的な製品を次々生み出し、世界的な企業へと成長させた。**ジョブズ**の退社と復帰は、**Apple** の歴史において重要な転換点であった。

**ジョン・スカリー**は、もともと **ペプシコ**の社長を務めていた実業家で、マーケティングの手腕を買われて 1983 (S57) 年に **Apple** の CEO に就任。彼は **ジョブズ**に「このまま砂糖水を売り続けたいのか、それとも私と一緒に世界を変えたいのか？」と誘われ、**Apple** に移ったことで有名な話。その後、スカリーは **Apple** の経営を続けたが、**Apple** の業績低迷が続き、取締役会の信頼を失い、1993 (H5) 年に CEO を退任。彼の退任後、**Apple** はさらに苦境に陥り、1997 (H9) 年に **ジョブズ**が復帰することになった。

河野さん

「アメリカに引っ張られた感じですね。アメリカで 3 カ月前に発売されて、その時にちょっとしたお祭り騒ぎ的に報道されたんです。

『**アキバもやるか**』って見られて、フタを開けたら本当に沢山の人が来ちゃった。人々の想像をはるかに超えて人が集まりました」



【左】当時の PC パーツにも貼られていた **Windows 95** マーク (Photo [Gareth Halfacree](#))

**世界と秋葉原**を変えた **Windows 95**

河野さん

「その日を境に、**世界が変わりましたね**」

次の日から、**Windows 95** 入りの PC を求めるお客さんが、ひっきりなしにやってきた。**秋葉原**の PC 販売の最盛期を迎える。

河野さん

「**Windows 95** は、ユーザー層を、一気に広めてくれました。その日を境に、**家族連れ**などからも PC が本当に普及しましたから」

秀島さん

「世界がインターネットでつながる。

その**仕組み**が **Windows95** によって**標準化**されました」



インターネット時代を世界に広めた  
**Windows 95**。

それは**創業 200** 年超の**老舗和菓子店**にも  
影響を与える。

西井さん

「私も **Windows 95** は、すぐ手に入れて。  
おかげで、袋も画像処理のソフトでデザインして、  
こういう商品もオリジナルで、作れるように  
なりました。

【上写真】▲近所の**神田神社**で、お祓いした**疫病退散アマビエどら 260 円**。  
これも **Windows PC** で作った。

【※2】 **95** が出る前は、今では懐かしい**プリントゴッコ**でやってましたから」  
※2 **理想科学工業**がかつて販売していた家庭用の**簡易印刷器**。



そして秋葉原を**白物家電**から  
**PC の街**にしたきっかけも  
**Windows 95** だ。

【左写真】▲**1995 年夏**の秋葉原。看板にテレビや  
ビデオの文字が並び時代を感じさせる  
(Photo by [Clusternote](#))

それまで秋葉原の電気店の先頭にあった  
**白物家電**が、**4 階**などの**上層階**に追いやられ、  
**1 階**が**PC 売り場**になっていった。  
家電よりも **PC** が売れるからだ。



西井さん

「秋葉原で **60 年**生きてきましたが、  
おそらく秋葉原史上最高の大騒ぎ。  
あんなのは後にも先にもありません。  
**ドラクエIII**の行列もすごかったけど、

**Windows 95** はその**比較**になりませんね。  
**ドラクエIII**は、交通規制にならなかった

昭和シェル社友会 hp250515 号 No.57 Microsoft 栄枯盛衰の 50 年。PC 普及から AI の雄へ  
はずですから」そして西井さんはこうも語った。

**Windows 95 は、秋葉原の電気街を復活させた** のかもしれません。

それまで秋葉原をけん引した白物家電は、大手の電気店で安く売られるようになり、  
秋葉原の人氣がなくなっていたんです。

Windows 95 が連れてきた PC ブームは、白物家電らに代わる救世主だったんですよ」  
そして、アニメの看板が増え、メイドたちも歩く今の秋葉原。

西井さん

「秋葉原はこれまでのブームで生まれたお店たちを残しながら、  
どんどん生まれ変わっています。秋葉原は新しいものを拒まない街ですから」

(編集：ノオト = ライター：辰井裕紀) (了)

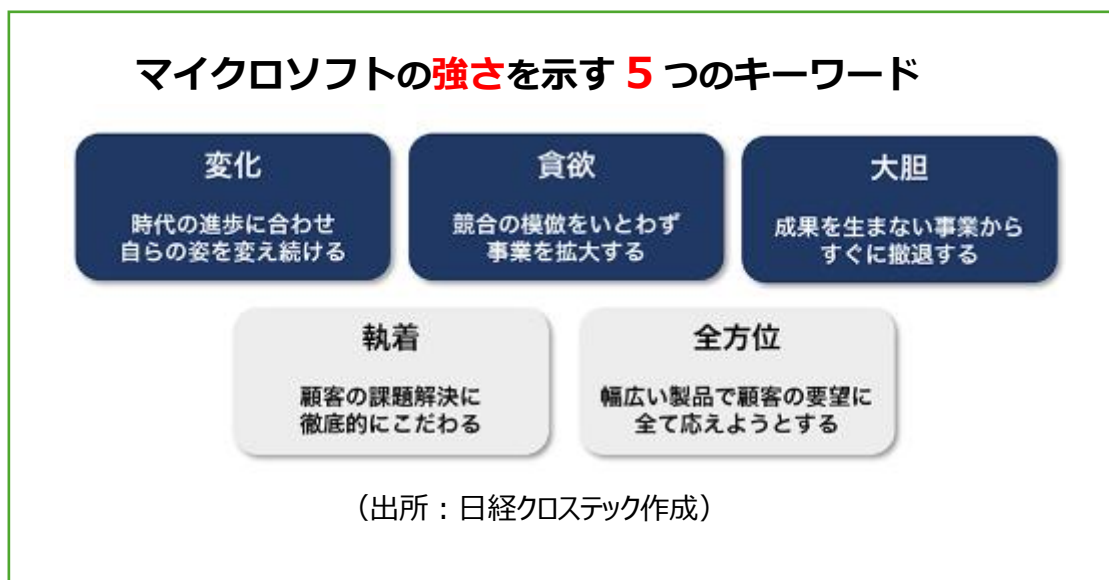
【この頃から一般ユーザーたちに普及し始めたパソコン用語の一部】

※BASIC (ベーシック) は、1964 (S39) 年に米のダートマス大学で  
教育目的に開発されたプログラミング言語です。BASIC という名称は、  
「Beginner's All-purpose Symbolic Instruction Code の略。

※デジタル・イクイップメント・コーポレーション：「DEC (デック)」(pc メーカー)  
(Digital Equipment Corporation) は、かつてアメリカ合衆国を代表した  
コンピュータ企業の一つ。1957 (S32) 年、ケン・オルセンによって  
マサチューセッツ州メイナードに設立された。欧米では「Digital」と略称される  
ことも多い。DEC の PDP シリーズと VAX シリーズは、1970 年代と 1980 年代  
の科学技術分野において最も一般的なミニコンピュータだった。  
1998 年にコンパックに買収され、コンパックが、さらに、2001 年に  
ヒューレット・パッカード (HP) 社に買収されたことから、DEC の製品群は HP  
のブランド名で販売されている。かつての DEC 一部事業や、マサチューセッツ  
州ハドソンの工場は※インテルに売却された。

※インテル：1968 (S57) 年 7 月 18 日にロバート・ノートン・ノイスと、ゴードン  
・アール・ムーアによって設立。本社はカリフォルニア州サンタクララ。インテル  
は、世界最大手の中央処理装置 (CPU、MPU) および半導体素子のメーカー。  
マイクロソフトの Windows OS はほぼ 100%をインテルの CPU を採用してきたが、  
ここにきてインテルの CPU の故障が増えここ 1~2 年の間に AMD (Advanced Micro  
Devices, Inc. (アドバンスト・マイクロ・デバイゼズ)) の CPU に切り替わってきている。

※GUI：((Graphical User Interface)グラフィカル・ユーザー・インターフェイス)  
は、コンピュータやその他の電子機器を操作するために用いられる、視覚的要素を  
基にしたインターフェイスの総称。ユーザーは、マウスやタッチパネルを利用して  
アイコンやボタンを操作することで、直感的にコンピュータを操作できるようになる。  
また、CUI (Character User Interface(キャラクター)) は、テキストベースの  
インターフェイスを指し、ユーザーは、コマンドラインやターミナルを通じて  
コンピューターと対話する



【関連記事】(Ctrlkey+クリック)

• [ビルゲイツの生い立ち](#) (スティーブジョブズ、ted、中田敦彦)

• [ゲイツ - Wikipedia](#)

本名：ウィリアム・ヘンリー・ゲイツ 3 世 (William Henry Gates III、  
1955 年 10 月 28 日生 -

• [「寝るなんて怠け者」だったビル・ゲイツを変えた一冊の本](#)

[Intel、25 年 Q1 は 8 億ドルの赤字 さらなる人員削減へ： …](#)

5 日前・Intel は 2025 年 4 月 24 日 (米国時間)

(一世を風靡したインテルも今では AMD の後塵を拝することに…)

• [Microsoft 50th Anniversary | Satya Nadella Open](#)

マイクロソフト、50 周年を祝う 2025 年 4 月 7 日 | Japan News Center

• [OS 帝国から AI 覇者へ：マイクロソフト 50 年の栄枯盛衰を振り返る](#)

2025 年 4 月 16 日・マイクロソフトが設立から 50 年を迎えるということで、  
日経新聞から

(了)